

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 176号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年7月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)リポート 3
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 4、5、6
- 特別寄稿・・・柳田一千一代表幹事を偲んで 7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

<神奈川イグレン 2017 年度 第 34 回年次総会完了報告>

平成 29 年 6 月 27 日 (火) 神奈川県中小企業センター 6F 大研修室にて今年度の総会が行われ無事終了しましたので皆様にご報告申し上げます。

イグレン第 34 回総会終了!財政改善問題で意見交換

芝 忠

平成 29 年度 (2017) 第 34 回イグレン総会が 6 月 27 日(火)午後、神奈川中小企業センター大研修室で開催されました。この期はイグレン事務室の移転や、資料保管庫からの撤収により、片付け作業に追われ、十分な事業展開が行われませんでした。それでも増田辰弘氏の「熱視線、アジアビジネス面白話、下駄ばきビジネス化した近隣地域(国)」の国際セミナーや、人材育成研修講座のスタート、川崎市経済労働局長や共産党県会議員団との懇談などが行われました。また川異研 ‘30 周年’、シフト 21 ‘20 周年’、メンバーズ 21 ‘28 周年’ などグループの祝事が相次ぎました。三浦半島・西湘・海老名のサロンが引き続き開催され、新事業・新技術支援フォーラムや新規グループづくりへの取り組み、テクニカルショウの見直し会議なども開催されました。

県産業技術センターの地方独立行政法人化スタートや川崎図書館の移転問題など、県政の現場機関にかかわる問題も取り組みました。

現在のイグレン財政が、大きな借金をかかえ、このままだと解散に追い込まれかねない危機的状況の打開策として、基本的には会員の増加を図ることが第一ですが、緊急避難的に①三役 2 万円、理事 1 万円の拠出金のお願い、各種イベントの都度カンパ活動の要請を行う。当日早速 5 千円のカンパが集まりました。あり

がとうございます。②サロンの定常グループ化の代わりに、印刷経費等の補てん策として「サロン協賛金」として年間5千円程度の協力金の要請、③まんてんプロジェクト・日韓ビジネス協議会の印刷費の負担の継続と増額の要請。④「中小企業と現代学生気質」(1万円)の販売活動強化、⑤ニュース・機関誌への広告掲載の検討、⑥各種イベントの有料化、⑦補助金・助成金の獲得支援ビジネスの推進などの提案がなされました。順次実施される見込みです。

理論機関誌が第5号まで発行され、会員活動の紹介やイグレン関連活動の理論化、異業種連携の理論的追究などに貢献しています。この機関誌活動は全国的にみても本県の重要な特徴です。今後も、充実させていきたいと思っています。

総会に引き続いて行われた、「事例発表会」は最近のイグレン活動と個別の企業活動との連携が報告され、大変参考になりました。内容は以下の通りです。

- ① 地球温暖化の中でゲリラ豪雨対策・防災対策のシステム開発と普及
・・・(株)ユニメーションシステム 代表取締役社長 伊藤幸彦 氏
温暖化現象の影響を受け世界各地で異常気象が発生している。特に我が国日本における影響は群を抜いているとの事で防災対策が急がれるところである。
- ② ペットボトルリサイクル製品を活用したコンクリート隧道の補強材
・・・日本繊維エンジニアリング 代表 石川 常夫 氏
会社の危機的状況の中で起死回生策としてペットボトルをリサイクルした製品がコンクリートの補強材として活用され今や日本各地の高速道路やトンネルなどに活用されているとの事で実際コンクリートに混合される製品が配られた。
- ③ TRiAS 構想と最近の事業展開・・・(株)TRiAS 代表取締役社長 栗田 篤 氏
顧客のニーズからただ単に提案するのではなく顧客が描く未来像をストーリー化していく。それに合わせた技術提案を様々な観点から行っていく連携事業も手掛けている。
- ④ 天頂衛星を活用した子供たちの通学路安全対策と聞き書きマップづくり
・・・科学警察研究所 犯罪行動科学部長 原田 豊 氏
衛星を利用して地域住民の皆さんの協力を得ながら聞き書きマップを作成。
「安全点検まちあるき実施の手引き」を作り特に子供たちを守る安全な環境を作る。

この企画は今後も引き続き開催される予定で、次回は秋にも企画されています。
事例発表会は25人の参加、総会は19人、懇親会は12人(少し寂しかった)。



「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポートのご案内

イグレン事務局 松井利夫

第52回フォーラムは平成29年6月30日に開催。初めに、イグレン会員である(株)映学社のコーディネーター斎藤晃顕さんから事業の説明をして頂きました。(株)映学社は、防火・防災、交通安全、人権啓発を三大柱に様々な分野の教育映画を企画制作していて、斎藤晃顕さんは、映画製作のために必要な条件を整えるコーディネーターを務めています。最近の代表的な作品の映画の一つに、2015年に製作した人権学習教育映画『こんにちは金泰九さん～ハンセン病問題から学んだこと～』という映画があります。この映画はインドネシアの「2017女性、社会問題、差別撤廃の人権国際映画祭」で金賞を受賞、他の海外映画祭でも数々受賞しています。この作品は、広島県福山市にある盈進(えいしん)中学高等学校の中学1年生であつた後藤泉稀さんが法務省人権擁護局主催の第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「NO!と言える強い心を持つ～ハンセン病から学んだこと」を映像化したもので、後藤さんとハンセン病患者・金泰九(キムテグ)さんとの交流を描いたものだそうです。

次に、新事業に関係ありそうな話題提供が幾つかありました。

①最初は、今年の4月に開催された『木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟』の設立総会についてです。この議員連盟は、今後2030年までに国産材利用50%を目標に“木の総合文化”の普及啓蒙及び木材活用の推進などについて全国的に積極的な取り組みを図る”ことを目的に設立されたとのこと。関連情報として、森林は荒れているため、鳥獣公害による被害が続出している、その中でも樹木を傷つける鹿の被害が多いとのことや、大型動物扱う獣医師の減少などの説明があった。

②次に、人口知能(IT)時代に起きる「消える業種とは」と「これがIOT化した世界だ」という資料を入手したので参考にしてほしいと配られて説明されました。

③次に、農水省と経産省が初めて真正面から共同して取り組む「次世代農林水産業創造技術」の紹介がありました。

最後に斎藤晃顕さんは、「映画業界にド素人の私が、8年もの間で130本余作品に関与できたのは、依頼先の方と常に対等で、ウインウインの良好なお付き合いが続けられるようにすること。自分が有利になることのみを並べて“セールスポイント”として鋭く売り込むのではなく、相手がこちらに興味をもって近づいてくれるように自ら“チャームポイント”を少しずつ身に着け、接していくようにすると不思議と新しい人とも“縁(えにし)”が生まれる気がしています。」と述べられました。

次に、荒川さんが、改良に改良を重ねて完成した「危険通報通信システム」(PCL)の試作品を持ち込み、実演が行われました。この後、電波法の許可を取るなどして年末か年明けまでに製品を作り販売を始めたいとの説明がありました。



イグレン会員グループ・プロジェクト状況

【NPO 法人 C&S 経営支援協会】

理事長 松井利夫

平成29年度に実施するセミナー等の予告案内

実施月	事業内容	特 徴	受講料(予定)
9月	「中小企業のための 人材獲得戦術セミナー」 (仮題)	人材不足時代の採用成功作戦と 採用の実務を具体的に説明しま す。	無料 (但し、資料代 2000円)
10月	「中小企業会計の啓発・普 及セミナー」	中小企業庁が中心になって中小 企業の実態に即して簡便に策定 された「中小会計要領」を説明し ます。	無料 (但し、資料代 1000円)
11月	「起業支援講座」	「創業者体験談」、「経営」、「販路 開拓」、「ビジネスプラン作成」な どを中心に起業に役立つ知識を 説明します。	無料 (但し、資料代 4000円)
12月	「公的補助金獲得作戦 セミナー」 (仮題)	「革新的ものづくり・商業・サー ビス開発支援補助金」の申請と獲 得の秘訣を説明します。	無料 (但し、資料代 2000円)

当会では9月から12月の間に以上のような事業を実施する予定です。

開催日時、会場、講師、具体的な内容、その他については、イグレンニュースの次月号から順次、お知らせします。なお、9月は9月15日(金)18:00より決定しました。

主催：NPO C&S 経営支援協会 後援：神奈川県異業種連携協議会

【問い合わせ先】 NPO C&S 経営支援協会 (ケイアイ 090-9130-0119) 又は
神奈川県異業種連携協議会 (TEL 045-228-7331)

【川崎異業種研究会】

川崎商工会議所 桂 千香

<4月定例会>

4月13日(木)午後6時より、当所にて、会員12名、オブザーバー3名、和光大学学生4名、合計19名の参加を得て開催した。

今回は、川崎信用金庫 業務部経営サポートセンター 調査役中島太一郎氏を講師に迎え、「最近の地域経済状況について」をテーマに講演が行われた。中小企業、小規模事業者の景況は国内でも回復基調にあり、川崎市の中小企業事業所の減少ペースも緩やかになってきている。そして川崎市の人口増加による消費量の増加、東京オリンピック開催準備に関わるインフラ整備、製造業の国外生産拠点の国内回帰の流れなどもあり、経済動向は徐々に回復することが予想されると語られた。また、地元中小企業の経営上の問題点、売上拡大、人手不足、同業者間の競争激化等、具体的な相談事例と解決に向けた川崎信用金庫の取り組みを紹介された。参加者は熱心に耳を傾け、講演後は積極的に質疑がなされ、好評を博した。

その後場所を移し懇親会を行い、終始和やかな雰囲気での親睦を深めた。



【熱心に聴く参加者】



【講師の中島氏】

< 4 月分科会 >

4 月 6 日 (木) 午後 6 時 3 0 分より、中原市民館第 1 会議室にて、会員 5 名、和光大学生 1 6 名の参加を得て開催した。今回は、Color of Life 税理士事務所 所長/税理士 水庫 (みずくら) 清氏を講師に迎え、「資産税&意外と怖い役員貸付金」というテーマで講演が行われた。

今回は学生さんが多かったこともあり、具体的な状況より一般的な、会社の会計についての説明をメインにご講演いただいた。

その後の懇親会では、より具体的な会計のテクニク的な部分をご説明頂き興味深く耳を傾けた。

【第 184 回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2017年7月26日(水) 午後3時30分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター (神奈川県異業種連携協議会) TEL : 045-228-7331
3. 次第：
 - 会長挨拶・・・瀧澤 清氏
 - 日韓商談会の報告・・・折衝中
 - 会社紹介・・・KSCセンター恵比寿 代表 道野恵美子氏
肩こり、腰痛、姿勢矯正のカイロプラシクなど
 - メイン講師 KOMINENCO アジア総合研究所 代表 小峰直保子氏
<タイトル>：韓国人の生活と韓方の結びつきはじめに、韓方をどうして勉強しようと思ったのか？
 - 1、韓方・韓医学とは
 - 2、東医宝艦で有名なのは、許浚 (ホジュン) 韓方医学と料理では、大長今 (テジャングン)
 - 3、韓薬材料の種類の説明
 - 4、韓方を使った料理の説明・参鶏湯 (サンゲタン) など
 - 5、韓国伝統お茶の説明・五味子茶・スジョンガ・シッケ など
 - 6、韓国の市場で売っている韓方など
 - 7、その他 (45分程度)

異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

有村 知里

《2017年8月定例会》

■日時 2017年8月8日(火) 19:00~20:20 懇親会 20:30~22:00

■場所 ビジネス&コミュニティ 横浜駅前オフィス セミナールーム
横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイヤビル303

■プログラム

講演 「ここまで進化した Fax DM」

- 1、なぜ、いまだき FAX なの ⇒当社サービスが右肩上がりに伸びている理由
⇒利用業界とその企業の潜在的な課題
- 2、FAX 送信、受信業務を具体的に省力化します
⇒BPR (フローを共有化)
⇒自動化、リスク回避・効果
- 3、導入検討時に何が必要、何が変わるの
⇒①仕事量はどのくらいかかっていますか
⇒②テレネットのサポート範囲
- 4、最近のトレンド、活用事例 ⇒各サービスの紹介 (事例3つ)

講師 日本テレネット(株) ソリューションユニット リーダー 黒田 直樹様
ソリューションユニット サブリーダー 丸尾崇朗様

■参加費

定例会 / 初回参加の方 無料、2回目・3回目 1,000 円、4回目以降 4,000 円

懇親会 / 初回参加の方 1,000 円、2回目以降 実費 (3,000 円程度)

異業種交流会シフト21 とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。
多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで
研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。
お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

イグレン広報 宗和 正憲

今回、総会及び理事会にて、もっとイグレンの事を広く周知させていく事が肝心であるとの意見を頂戴し、イグレンに対する要望も提案されました。その一環としまして皆様の意見を伺いながら今後の会員活動支援に役立てるアンケートを実施させていただく運びとなりました。

これはイグレン会員全員を対象にしたものです。別紙、返信用ファイルを添付しておきますので皆様是非とも返信、ご協力をお願い致します。尚、今年度の会費が未納の方は速やかにお支払い頂けますようお願い申し上げます。

【 アンケート締切 】 7月31日

【 連絡先 】 ① イグレン宛電話・FAX 045-228-7331

② siba.tadashi@gmail.com

特別寄稿

異業種交流、異人種交流の巨星逝く
— 横ベンで一時代を築く異才の交流人 —

元神奈川県究開発型企業連絡会議（RADOC）事務局長 増田辰弘

異業種交流の一時代を築いた感のある異業種交流グループ元横浜ベンチャービジネスクラブ（横ベン）の柳田一千一代表幹事が去る6月7日に亡くなった。横浜ベンは特異な異業種交流グループであった。中小企業だけに限らず、大企業、官庁、流通サービス業、学生、女性、外国人など誰でも入り、その日から誰でも主役になれる稀有な仕組みを創りだした。

なんだそんなことかと言われるかも知れないが、これが今から30年も前の話だからすごいのである。これも柳田さんが、何人にもこだわらず、何人にも惑わされず、自然児そのままの生き方が大きく花がひらいたのである。

私と柳田さんの一番の思い出は、1984年の6月15日、16日に開催した第1回全国ベンチャー大会（正式名称は第1回究開発型企業全国交流研究会）の地方への根回し全国行脚の珍道中である。（この年には秋には異グ連の異業種交流グループ全国大会も開催され、今から考えればこの年は交流元年とも言える歴史的な年であった。）。

時はバブル経済前期、今では信じられないがこちらがお願いに行っているのに、名古屋では栄のクラブ、大阪では京都の祇園、博多では中洲の料亭とどこでも大歓待を受けた。そして、この大会は第2回大阪、第3回は名古屋と場所を変えて開催されたが、段々2次会、3次会の夜の部が豪華になった。もちろん、この夜の部の中心に柳田さんがいたのは言うまでもない。

考えて見れば、クラブや祇園で飲むから話が盛り上がる。確かに値段は安いかも知れないが、これが和民や華の舞ではそれほど話も盛り上がらない。今景気が上向かない原因のひとつはこの安酒屋文化にあることだ。ひとつひとつが一見合理的に見える行動が、全体として景気を縮こませる原因となっている。

異業種交流もそうである。横ベンはこのクラブや祇園の交流方式である。この異業種交流会グループの会議に出て果たしてメリットがあるかなどの安酒屋文化ではなかなか得られない人間と人間の深い関係を創り出した。住職が驚いていたが、柳田さんのお通夜では弔問客が最後まで途絶えることがなかった。彼の行って来た異業種交流、異人種交流の功績を深く忍ばせる出来事であった。 合掌

芝 忠

	尾上町サロン	西湘サロン 第70回	海老名サロン 第41回	三浦半島経済人サロン 第77回
日程	8月04日(金) 18:00~20:30	09月5日(火) 18:00~20:00 開場は17:30~	9月1日(金) 15:00~	7月27日(木) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センター703 イグレン事務局	おだわら市民交流センター-UMECO 小田原市栄町一丁目1番27号	神奈川中小企業センター 6階特別研修室	神奈川新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン(芝)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	参加費:1,000円	「絵画の制作~出会いを求めて~」 東海大学 教養学部芸術学科美術学課程教授 河野 孝博 氏 参加費:1,000円	「中小企業問題を考える」 会費:2,000円	「いまどきの相続事情-遺言書から民事信託(家族信託)へ」 全国相続協会相続支援センター横浜支部長 青木 信三 氏 参加費:1,000円

皆さんこんにちは。先日、局地的豪雨で大きな災害をもたらした九州地方。山を隔てただけで災害の度合いも異なり被害のあった地区も明暗を分けています。数日前、たまたま熊本から大分に行く予定がありましたので様子を見ましたが至る所で道路も崩れ補修中でした。山肌は大きく崩れ、国道も通行止め迂回を余儀なくされている状況です。このような状況の中、豪雨だけでなく昨年起こった熊本の震災の影響も今まだに残っています。今まで町中から見えていた熊本城の天守閣も上部は解体されており何だかちょっと寂しい状況でした。

地球温暖化による異常気象。今まで以上に思いもよらない災害が今後も続くのでしょうか？温暖化対策に世界を挙げて対応していこうという機運もトランプ政権の下では自国の利益優先主義となってしまっています。待たなしの地球環境保全に私たちはもっと関心を払うべきなのかもしれません。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com